

令和5年度（2023年度）第1回
北海道中山間ふるさと・水と土保全対策委員会 議事概要

日 時：令和5年（2023年）6月7日（水）10：00～11：30

場 所：かでる2．7 8階 810A会議室

出席者：別添「出席者名簿」のとおり

次 第：別添「次第」のとおり

議 題：議題1 第4期事業実施計画（令和2年度～令和6年度）について

議題2 令和5年度事業計画（案）及び事業予算について

議題3 地域活動支援事業 令和4年度（2022年度）事業実績及び令和5年度
（2023年度）活動計画について

議題4 その他

議 事：

（1）議題1 第4期事業実施計画（令和2年度～令和6年度）について

ア 事務局から資料2に基づき説明

イ 質疑応答（有・無）

（2）議題2 令和5年度事業計画（案）について

ア 事務局から資料3に基づき説明

イ 質疑応答（有・無）

小西委員）新規地区立ち上げについて、まるっきり新しく立ち上げるのか、目星をつけている団体はあるのか。

事務局）3月の委員会の時点で報告をした羅臼地区については、牧草の方が落ち着いてから、当たりをつけることを考えている。ただ、地元が何をしたいのか、具体的に決まっていないことから勉強会などを提案したいところ。同様に、後志地区については、広域で行う関係から少し待つて欲しいとの報告があった。また、指導員会や幹事会で新規地区の立ち上げについて情報提供を求めたところ、鶴居村や栗山町から立ち上げに向けた動きがあることから、当たりをつけたいと考える。ワインの関係で三笠のほうでも、ずっと話があるがなかなか盛り上がっていかないの、そちらにも話を伺いたい。後志の方は普及センターが頑張ってくれているので、そちらと連携をとっていきたい。

山本座長）後志は広域でやりたいという話だったか。

事務局）広域で行いたいとのことだが、現在調整中。まずは意識醸成で講演会等を開けば、方向性が見えてくるのではと期待している。

大熊委員）諦めてくれと言うことではなく、前向きに検討したいので待ってくれと言

うことでよいか。

事務局) そのとおりである。

大熊委員) 鶴居は前にも行っていなかったか。

事務局) 以前は、フットパスの整備等を行っていた。今回話があったのは、鶴居村、弟子屈、標茶の3町村が連携して、農村ツーリズムの動きをしたいとのこと。

小西委員) 栗山はどのような話か。

事務局) 管野さんというふる水指導員の方が、経産牛を肥育して、それを自分のレストランでハンバーグなどに加工して提供している。その中で野菜農家などと連携して行っている動きを、地域の活動として行えないかという事を考えている。

小林委員) 管野さんは他の事業が4月から始まっているはず。他の交付金等を受けている場合、ふる水で採択することはできるのか。

事務局) 行うことの内容が違えば、採択することは可能。

事務局) 研修について、現地研修については委員に対し参加の希望を募っていたが、幹事会のなかで、ブロック会議についても委員に参加してもらい、意見交換や、講評をいただきたいとの意見があった。今年度は、そちらの開催についても、案内するので参加できる方は、よろしく願い。

山本座長) 日程が決まり次第、通知を。

(3) 議題3 地域活動支援事業 令和4年度(2022年度)事業実績及び令和5年度(2023年度)活動計画について

ア 事務局から資料4に基づき説明

イ 質疑応答 (有・無)

[オホーツク広域]

山本座長) いろいろと出来ていないことがあるようだが、今年度で成果はでそうなのか。

事務局) 活動地区から、「昨年度は、予定していた事の半分程度しか出来ていなく、モニターツアーもすることが出来なかった。今年度、モニターツアーを開催できたとしても、1回しか出来ないのであれば、サンプルとしても足りないので、1年活動の延期をしてもらえると大変ありがたい。」との声が出ている。

大熊委員) コロナの影響で何年間にも渡って活動が出来ないというのは、活動地区の企画のミスではないので、延長に対する考慮をしてもよいのでは。

事務局) 昨年度、教育旅行ニーズ調査を行っているが、その結果を実際に落とし込めていないので、試してみたい、実際にやってみて感想を聞きたいと

いう想いもあるようだ。

中山委員) モニターツアーは修学旅行生を受け入れるものか。

事務局) そのとおりである。昨年度は大阪の高校生を受け入れる予定であったが、中止になり用意したメニューを試すことが出来なかった。また、教育旅行以外の、野鳥観察モニターツアーも本来、外部の者を招いて行う予定であったが、活動地区のメンバー等で行った。感触はよかったようだが、こちらについても実際に一般の方を招いてやりたいとの希望がある。

小西委員) 今年度予定されている、体験コンテンツモニターツアーは2名を招いて行うようだが、この2名はどのような人を想定しているのか。

事務局) 東京の旅行会社を招いて、ツアーに対して助言指導をしてもらう行う予定である。

小西委員) 2名というのは少なく感じる。北海道にも宝島旅行社などのように、富裕層や、外国にもたくさんのお客様を持っている会社もある。せつかならもっと多くのエージェントに体験してもらい、実際どうなのかという意見をもらった方がよいのでは。

事務局) 今年度の予定については、もう決まっているかと思うが、来年度開催するのであれば、委員会からの助言と言うことで活動地区に伝える。

[本別地区]

山本座長) 紹介カードが予算のタイミング合わず自主制作とあるが、どういうことか。

事務局) 発注の時期が遅れたことにより、振興局が年度内に執行できなかったものである。

山本座長) 今年度も、発注する予定はあるのか。

事務局) 予定されている。

山本座長) どのくらい発注するのか。

事務局) 100枚×9種類の900枚を発注する予定。

山本座長) 軒並みいろいろなことが出来ていないようだが、令和3年度はどうだったのか。

事務局) 令和3年度も同様の状況。

中山委員) 活動自体は活発にやっている印象だが。

事務局) 予算執行に関しては、急に言われたことに対しては、なかなか対応が出来ないので、計画性を持ってやってもらいたい。

山本座長) 振興局の方から、活動地区に対して計画性を持って執行するよう強く要請願いたい。

大熊委員) 昨年度の執行率は。

事務局) 2割程度である。

小林委員) ここ2年、上手く予算を使えていない印象だ。実施計画を実施するためには、どのタイミングでどういったことが必要なのか、振興局と実施地区で密に連絡を取り合って欲しい。

山本座長) 食育メニューレシピ50冊とあるが、どのようなところに配るのか。

事務局) 学校、図書館、道の駅、町内飲食店を想定している。

大熊委員) そのような配布先だと、死蔵されてしまう恐れがある。日常的に見てもらうために、もう少し増やしてもよいのでは。

小西委員) 内容に、自分たちの活動のPRを載せてもよいのでは。

山本座長) 冊数、内容について確認願う。

[財田地区]

山本座長) 今年度の活動計画について、ステッカーの作成は昨年も行っているのでは。

事務局) 昨年度は、デザイン委託したところまでで、今年度はそれを増刷する。

山本座長) HPを作成したようだが、誰がこのコンテンツを触るのだろうか。

事務局) 地域おこし協力隊が管理すると以前は言っていたが、確認する。

山本座長) 地域おこし協力隊はこの活動に入っているのか。

事務局) 関係団体として、洞爺湖町役場が入っているが、地域おこし協力隊が直接入っているのかは確認していない。

小林委員) 振興局担当者との調整が不足していたと書いているが。

事務局) ステッカーの増刷の発注を頼んだ時期に、鳥インフルエンザが胆振管内で連続して発生し、ほかの事務が滞ってしまったためである。

小西委員) 財田米に合う惣菜研修会を開催する予定だが、それを何か形に残したり、PRパンフレット等で広めたりすることは考えていないのか。

事務局) この地区の活動は2年目なので、とりまとめは3年目になる予定。

小西委員) 洞爺湖の周りは高級な宿も増えてきている。そういった宿に絞って、高級なところで食べられるという風にする、宿自体にも、なかなか食べられない財田米が食べられるというのは、お互いのメリットになると思われるので、そういった宿にセールスをかけるのも一つの手である。

小西委員) 昨年現地との打ち合わせ時に委員から出ていた宝船で財田米をPRする案はどうなったのか。

事務局) 産業祭りの時に行くことも検討したが、その時期は風が強い日が多く、波が高いため断念した。

山本座長) 実施計画のメニューを行うことはよいが、地域の人たちに対する啓蒙の

部分が少し足りなく感じる。そういう仕組みを作ってもらって、例えば講師として小西委員に入ってもらおうなどしてはどうか。

小西委員) パンフレットをどういったところで配布するかで、変わってくる。

大熊委員) 3年間活動した後に、何も変わっていなかったということになれば、もったいない。

小西委員) 財田米がおいしいのはわかるが、エビデンス的なもの、目に見える数値を見せて、優位性を示すのも手ではないか。

山本座長) 食味試験を、イベントで観光客相手に行ってみては。

大熊委員) 例えば、100人の人に食べ比べてもらって、何人が選んだ等の結果があれば、本当においしいことがわかるのでは。

山本座長) 米の食味研究の川村周三先生を、講師として招いて講演を受けてもよいのでは。

